国会事項

衆議院

質問書提出

十一月十日議員から提出した質問主意書は次のとおりである。

公文書管理ガイドラインの見直し案でいう行政文書の該当性に関する質問主意書（逢坂誠二提出）

安倍首相のトランプ米国大統領とのゴルフ中の映像についての削除依頼に関する質問主意書（大西健介提出）

「新たな社会的養育ビジョン」に関する質問主意書（大西健介提出）

答弁書受領

十一月十日内閣から次の答弁書を受領した。

衆議院議員逢坂誠二提出河野外務大臣の就任直後の会見における日米原子力協定に関わる認識に関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出核燃料サイクルについての世耕経済産業大臣の発言に関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出今次の総選挙の執行に関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出神戸製鋼所の製品のデータ改ざんに関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出国難突破解散の意味に関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出北朝鮮のおかげとはどのような意味と理解すべきかに関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出日本政府が国連総会第一委員会に提出した核兵器廃絶決議案に関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出内閣の国会召集の権限に関する質問に対する答弁書

衆議院議員逢坂誠二提出初鹿明博提出関東大震災における朝鮮人虐殺に関する質問に対する答弁書

衆議院議員初鹿明博提出憲法第五十三条に基づく国会の召集要求に関する質問に対する答弁書

参議院

質問主意書提出

十一月十日議員から次の質問主意書が提出された。

トランプ大統領来日と日朝ストックホルム合意に関する質問主意書（有田芳生提出）（第一一号）

答弁書受領

十一月十日内閣から次の答弁書を受領した。

参議院議員有田芳生提出北朝鮮による拉致被害者に対する政府の聞き取り調査に関する質問に対する答弁書（第一号）

参議院議員有田芳生提出北朝鮮の核・ミサイル開発と「第二次朝鮮戦争」に関する質問に対する答弁書（第二号）

参議院議員有田芳生提出ストックホルム合意における遺骨及び墓地、残留日本人に関する質問に対する答弁書（第三号）

参議院議員有田芳生提出ストックホルム合意における「日本人配偶者」に関する質問に対する答弁書（第四号）

参議院議員山本太郎提出警察官及び警察行政職員の採用試験に関する質問に対する答弁書（第五号）

参議院議員山本太郎提出沖縄・米軍ヘリ炎上事故現場における米軍の行為及び日本政府の対応と日米地位協定に関する質問に対する答弁書（第六号）

参議院議員川田龍平提出電磁パルス攻撃に対する原子力関連施設の安全確保に関する質問に対する答弁書（第七号）

参議院議員古賀之士提出C型肝炎救済法の請求期限に関する質問に対する答弁書（第八号）

参議院議員古賀之士提出九州北部豪雨からの復旧・復興に関する補正予算の必要性に関する質問に対する答弁書（第九号）

人事異動

内閣

○内閣総理大臣海外出張

内閣総理大臣安倍晋三は十一月九日ベトナム国及びフィリピン国へ出張のため出発した。

財務大臣　麻生　太郎

国際通貨基金総務会総務たる日本政府代表を命ずる

国際復興開発銀行総務会総務たる日本政府代表を命ずる

欧州復興開発銀行総務会総務たる日本政府代表を命ずる

米州開発銀行総務会総務たる日本政府代表を命ずる

アジア開発銀行総務会総務たる日本政府代表を命ずる

アフリカ開発銀行総務会総務たる日本政府代表を命ずる

多数国間投資保証機関総務会総務たる日本政府代表を命ずる

国際通貨基金の国際通貨金融委員会委員たる日本政府代表を命ずる

開発途上国に対する実物資源の移転に関する国際復興開発銀行及び国際通貨基金の総務会合同大臣委員会委員たる日本政府代表を命ずる

投資紛争解決国際センター理事会代表者たる日本政府代表を命ずる

環境大臣　中川　雅治

気候変動に関する国際連合枠組条約第二十三回締約国会議日本政府代表を命ずる

京都議定書第十三回締約国会合日本政府代表を命ずる

パリ協定第一回締約国会合第二部日本政府代表を命ずる

期間は平成二十九年十二月一日までとする（以上十一月十日）

法務省

法務事務官

同　石打　正己
同　石盛　裕規
同　井ノ口忠明
同　大西　宏
同　岡野　光延
同　奥村　仁
同　片野　靖江
同　小山　健治
同　佐々木光春
同　杉山　豊
同　住永　剛
同　髙木　修
同　高野　和博
同　髙橋　誠
同　蔦　啓一郎
同　戸津　利彦
同　中谷　勝彦
同　萩山　浩一
同　二葉　秀平
同　堀内　龍也
同　松尾　雅広
同　森山　昌弘
同　山照多賀世
同　渡邉　英介
同　柳田　修
同　脇本　佳昭

平成二十九年度土地家屋調査士試験委員（口述試験担当）に併任する

併任の期間は平成二十九年十二月三十一日までとする（各通）（十一月十日）

○定年退官

福岡区検察庁副検事水上政嗣は、検察庁法第二十二条の規定により十一月九日限り定年退官

叙位・叙勲

○叙位

従五位に叙する

水口　金男

従六位に叙する（各通）

吉岡　基之

横山　茂彦

榎本　浩昌

関　吉彦

馬場　宏吉

八浪　知行

山本日出男

原　眞昭

従五位に叙する（各通）

笛木　次雄

渡部　靖男

村上　光夫

加島　久行

小池　保

杉浦　鐸夫

今野　修

毛内　敏雄

櫻井　正彦

大澤　義弘

細田　信一

小梶　信治

従六位に叙する（各通）

高橋　耕一

目原　行廣

國吉　長秀

小林　昭平（静岡大学名誉教授）

関田　節子

廣川　浩

堤　一男

（広島県府中町議会議員）

川津　貞夫

小ケ口澄夫

橋本　一三

神原　彪

佐々木茂夫

山田　一朗

髙沼　理夫

松澤　篤郎

正七位に叙する（各通）（以上九月二十八日）

正五位に叙する（各通）

正六位に叙する（各通）

従七位に叙する（以上九月二十九日）

谷本　巖

正五位に叙する（各通）

従五位に叙する（各通）